



眞田 直也

-さなだ なおや-

1993年に(株)JTBへ入社。
勤務年数は22年となる。

ココも
チェック！



山口市での 取り組み

JTBでは、教育旅行営業、一般企業営業、MICE、地域交流事業（観光地経営、まちづくりへの参画）など様々な業務に携わってきました。

地域の多様な関係者と、観光地域としてのビジョンや取組の方向性をまとめた観光地経営戦略について合意形成を行い、地域のあらゆる要素を戦略に基づきマネジメントすることで、「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な観光地域づくりを推進する活動に活かしたいです。

市内の人・企業 との関わり

観光業界は大変すそ野が広く、自動車産業と同じくらい生産波及効果の高い業界です。観光業界のみならず、飲食、物販、伝統工芸、農林水産など多岐にわたる産業分野や、地域の伝統、文化、地域社会の牽引役の方々等、多種多様な方々と関わっています。

これまでの感想 と今後の目標

コンベンション協会の果たすべき役割として、国策で推進しているインバウンド、観光DX化等の取組により、旅行者の利便性向上、周遊促進、観光産業の生産性向上、山口市の観光地経営及びまちづくりの一助を担いたいです。

また、自主事業の取組により、協会自体の新たなビジネスモデル、かつ地域事業者や企業との共創、地域事業者に裨益する事業を目指し、旅行者、地域、コンベンション協会にとって三方良しとなり、更に選ばれる観光地になるように取り組みたいです。

今後の取組予定

観光客目線で山口市の価値を最大化することを目的とし、客観的データを活用したマネジメントとマーケティングといった観光戦略の策定など、戦略的な地域観光経営を推進したいです。また、山口市の多様な事業者を巻き込み、科学的アプローチを取り入れた司令塔を視野に入れた専門的な人材の育成に取り組みたいです。

山口市全体の 感想

NYタイムズで話題になりましたが、山口市は、商店街や個人、特に若者が営むお店が元気なまち、気持ちよく散歩ができるまち、歴史の響きがあるまち、大自然と向き合えるまちであり、実際に住民の優しさ、温かさ、おもてなしの心に触れ、住民が主役のまちであるということが心に響きました。

NYタイムズに山口市を推薦したクレイグ・モドさんが、旅の目的は有名な観光地を訪れることが全てでなく、日常生活やその国の文化と向き合い深みを感じ、住民との挨拶や会話など本質的な体験を求めていると語っていましたが、山口市で暮らし、そうしたことが腹落ちしました。一の坂川を桜の時期に久しぶりに歩きました。川の流れを聞き「昭ちゃんコロッケ」を食べながらゆっくり気持ちよく散歩ができました。県外にはあまり知られていないが、私の好きな風景であり、世界の中で最も美しい風景であると思います。